パナマ経済（２０１４年７月）

主な出来事

●１日、バレーラ新大統領は２０１４年７月１日政令第１６５号に署名し、基礎食料品バスケット（全５０品目）のうちの２２品目の小売り上限価格（１ポンド当たり）を発表した。７日午前８時から最長６ヶ月間適用される。

●１２日、メトロ２号線のプロジェクト・マネージメント契約の落札者がＰＭＬ２（Ayesa Ingenieria y Arquitectura（西）、Transporte Metopolitano de Barcelona (TMB)（西）、The Louis Berger Group（米））に決定した。契約金額は３,２００万ドル。

１　経済一般

（１）失業率（３月時点）

会計検査院によると、３月時点の失業率は前年同比０．２ポイント減の４．３％であり改善の兆しを見せた。

（２）イベリア航空のマドリッド～パナマ間直行便の増便

６日、イベリア航空は、マドリッド～パナマシティ間直行便を週５便から７便の毎日運航に増便すると発表した。

（３）１～５月期の新車販売台数

パナマ自動車販売業協会によると、上半期の新車販売台数は２８，３８１台（前年同期比５．６％増）に達した。１位トヨタ、そのほかトップ１０のうち日本車は６社ランクインしている。

（４）コロンビアとの送電網設置計画

コロンビアとの送電網設置に向けた計画が再始動したとコロンビア側の報道が伝えた。全長６００ｋｍで予算は約４億ドルになる見込み。始動開始は２０１８年の見込み。

（５）上半期のコロン・フリーゾーンの取扱額

コロン・フリーゾーン庁は、上半期の同フリーゾーンの取扱額が、１１２億７０００万ドル（前年同期比１５減）に減少したと発表した。減少の要因にはベネズエラ企業の不振や、対コロンビア再輸出製品に対し高い関税が課せられていることが挙げられる。

（６）上半期のパナマ国内港湾におけるコンテナ取扱高

海運庁によると、上半期のパナマ国内港湾におけるコンテナ取扱高は２７９万８０００ＴＥＵ。ワールドカップを関連としたブラジル向け輸出が堅調。

２　通商、自由貿易協定、国際経済関連

主要な動きは特になし

３　パナマ運河及びインフラ関連

（１）メトロ２号線プロジェクト・マネージメント契約

１２日、メトロ２号線のプロジェクト・マネージメント契約の落札者がＰＭＬ２（Ayesa Ingenieria y Arquitectura（西）、 Transporte Metopolitano de Barcelona(TMB)（西）、The Louis Berger Group（米））に決定した。契約金額は３,２００万ドル。

（２）パナマ首都圏都市交通1号線（メトロ１号線）整備計画

　１４日現在のサン・イシドロまでの路線延長工事（２.１km）の進捗率は６０％、エル・インヘニオ駅舎整備工事の進捗率は８５％。

（３）パナマ運河拡張工事

６月末時点のパナマ運河拡張工事の全体進捗率は７６.６％、第三閘門建設工事の進捗率は72％。

４　経済指標、経済見通し等

１～５月の経済活動指数

会計検査院によると、１～５月期の経済活動指数が前年同期比で３．５６％したと発表した。（了）